

戦後海外から引き揚げて  
来られた方々へ

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方々からお預かり致しました、約87万円の左記のような未返還の保管証券類をお返ししております。

終戦後、海外から引き揚げて来られた方々が、上陸地の税関・海運局に預けられた通貨・証券類が返還されたもの。

【保管証券類とは】

税関が保管している通貨・証券類には、携帯輸入が禁止された一定額を超えたものについて上陸港で引揚者から税関が預かった『上陸港扱いの保管物件』、外地からの引き揚げの際、在外公館又は日本人自治会へ寄託され、最終的に税関に移管された『外地扱いの保管物件』があります。

とお気づきの方は、お気軽に最寄りの税関までお問い合わせ下さい。  
問い合わせ先  
釧路税関支署網走出張所  
☎ 0152-43-5811

②実技指導 AEDを使用した心肺蘇生法  
問い合わせ先  
津別消防署救急担当  
☎ 76-2189

「ふるさと納税制度」への  
知人・友人ご紹介のお願い！  
ふるさと納税制度は、「ふるさとを応援したい」「好きな地域を応援したい」という思いをかたちにするために、寄附金相当額を所得税と個人住民税から控除することによって応援したい自治体に税金を納めることを可能にする制度です。  
津別町も「ふるさとつべつ応援基金」を創設し「未来に向けて応援してください！」をキャッチフレーズに、ホームページでのPRや東京つべつ会の皆様から紹介された方々に対し、パンフレットを送付しています。制度の趣旨をご理解いただき、知人、友人をご紹介下さるようお願いいたします。  
問い合わせ先  
総務課・住民企画課 ☎ 76-2151

平成25年度「救急の日」の事業として、一般市民を対象とした『町民救急医療教室』を開催いたします。  
美幌国保病院循環器内科部長の松井先生による救急医療講演が行われる他、家庭内、学校、事業所等で心肺停止した傷病者に遭遇した際に必要な、心肺蘇生法とAEDの使用方法を学んでいただきたいと思っております。  
多数の皆様の参加をお待ちしています。  
日時 9月6日(金)  
午後6時30分～7時30分  
会場 町民会館 講堂  
参加対象 津別町在住の町民  
実施内容  
①救急医療講演「動悸の原因」  
講師 美幌町立国民健康保険病院循環器内科部長  
松井寛輔氏

過激派は、平和で自由な民主主義社会を暴力で壊そうとしている反社会的な集団です。これらの集団は、表面上暴力性を隠して市民運動に参加したりして各界各層への浸透を図っている一方、警察などに対する違法な調査活動を組織的に行ったりしています。このような違法な調査活動は、非公然活動家がアパートなどに潜伏して行われています。  
当署では、津別町民の皆さんの安全と安心を守るため、これら過激派の壊滅に向けて、非公然活動家の発見や指名手配犯人の逮捕に向けて全力を尽くしています。  
皆さんの身の周りで「変だな？」と思うことがありましたら、遠慮なく警察署まで連絡をお願いいたします。  
連絡先  
美幌警察署 ☎ 72-0110

「勤労青少年の標語」募集

働く若者が充実した職業生活を営み、積極的に社会の一員として活躍できるよう、勤労青少年団体等が行う活動の指針として標語を募集します。

応募方法  
氏名・年齢・性別・職業・住所・電話番号を明記し、郵送かFAX又はメールで応募して下さい(応募は一人10点以内、作品は未発表に限りません)。

締切 10月20日(日) 必着  
賞  
大賞 1点 賞金1万円 他  
応募先  
〒164-8512  
東京都中野区中野  
4-1-1  
中野サンプラザ  
8F  
社日本勤労青少年  
団体協議会  
発表  
12月下旬に社日本  
勤労青少年団体協  
議会ホームページ  
に掲載します。

HP : <http://www.nikkinkyo.org>  
メール : [info@nikkinkyo.org](mailto:info@nikkinkyo.org)  
FAX : 03-3389-1956

貸金引き上げを行う中小  
企業を支援

北海道労働局では、中小企業事業主に対し、最低賃金の引き上げに応じた賃金の引き上げを行うための経営改善に取り組む支援策を実施しています。

最低賃金ワン・ストップ無料相談  
経営、労務管理の課題を明らかにし、専門家が問題解決を支援します。  
業務改善助成金支給条件  
①事業場内で最も低い時間給を4年以内に800円以上とする計画を作成し、1年目に40円以上の引き上げを実施する。  
②労働者の意見を聴取の上、業務改善の計画を作成し、実施する。  
支給額  
業務改善の経費の2分の1(上限5万円・上限100万円)  
問い合わせ・申請  
〒060-8566  
札幌市北区北8条西2丁目1番1号 札幌第1合同庁舎  
北海道労働局基準部賃金課  
☎ 011-709-2311  
(内線3534)

国際テロの未然防止

テロリストを人国させない、テロの拠点を作らせない、テロを起こさせない。

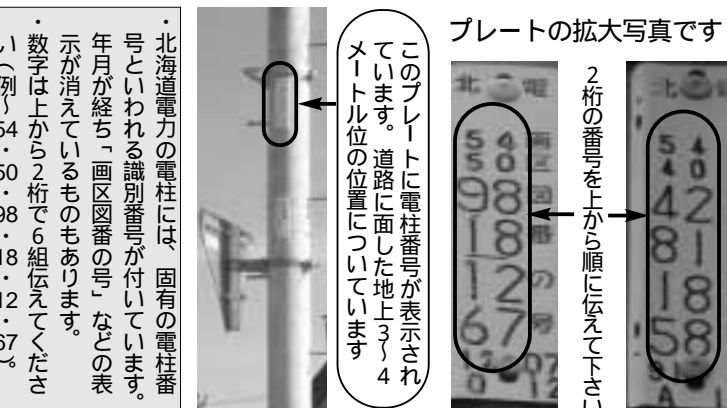
本年1月、北アフリカのアルジェリアで日本人を含む多数の者が殺害された事件が発生、また4月には米国ポストンでマラソンのゴール付近2か所で爆弾が爆発し多くの死傷者を出すなど、国外において不特定の者を標的にしたテロの危険性が増大している情勢にあります。

また、我が国はアル・カイダをはじめとするイスラム過激派から米国の同盟国として指摘され、テロの標的として名指しされるなど国内においてもテロの発生が危惧されています。  
当署では、テロリストの早期発見・確保に向けた対策を推進すると共に、公共交通機関に対する警戒警備を行うなどとしています。不審な人や車、荷物を見かけたとき、不審なグループが集まっている場所を見かけたときなどは、警察までお知らせください。  
連絡先  
美幌警察署 ☎ 72-0110

～消防本部 通信室からのお知らせ～

いざという時に、役立ちます！【電柱番号】

消防署では、緊急通報時に通報者自身の所在地が分からない時など、通信員が近くの電柱の北海道電力電柱番号を尋ねますので、番号を覚えていただければ災害発生場所を特定することができます。



問い合わせ先  
美幌・津別広域事務組合 消防本部 通信指令室 ☎ 73-1211

地域おこし協力隊のご紹介 ②



右・檜山知弘(ひやまともひろ)さん/38歳、左・檜山栄味子(ひやまえみこ)さん/44歳

7月から相生地区で活動している檜山知弘さんと檜山栄味子さんは、まだ結婚一年目のご夫婦。東京都出身の知弘さんと三重県出身の栄味子さんが、縁あって札幌で出会ったそうです。  
知弘さんは札幌で編集・デザイン関係の仕事に就いていましたが、二人とも自然の近くで暮らしたいとの思いが強く、今回の地域おこし協力隊に応募しました。  
現在の活動内容は、主に「道の駅あいおい」での豆腐作りやそば打ち、食堂業務など。地域活動として、あいあいさんの手伝いや9月に行われる相生衆楽祭(しゅうらくさい)の準備にも携わっています。「地域の皆さんに受け入れていただき、仕事や生活に少しずつ慣れてきたところで」という栄味子さん。余裕ができたら家庭菜園作りに取り組みたいそうです。

地域おこし協力隊とは、総務省の事業で、首都圏等から地域へ移住し、地域の生活支援や地域活動に協力し、将来は地域で就業または起業し、地域の活性化を目指すものです。